

**シーシーエス株式会社**  
**2014年7月期**  
**決算説明**



**2014年9月10日**  
**JASDAQ コード6669**

# 目次

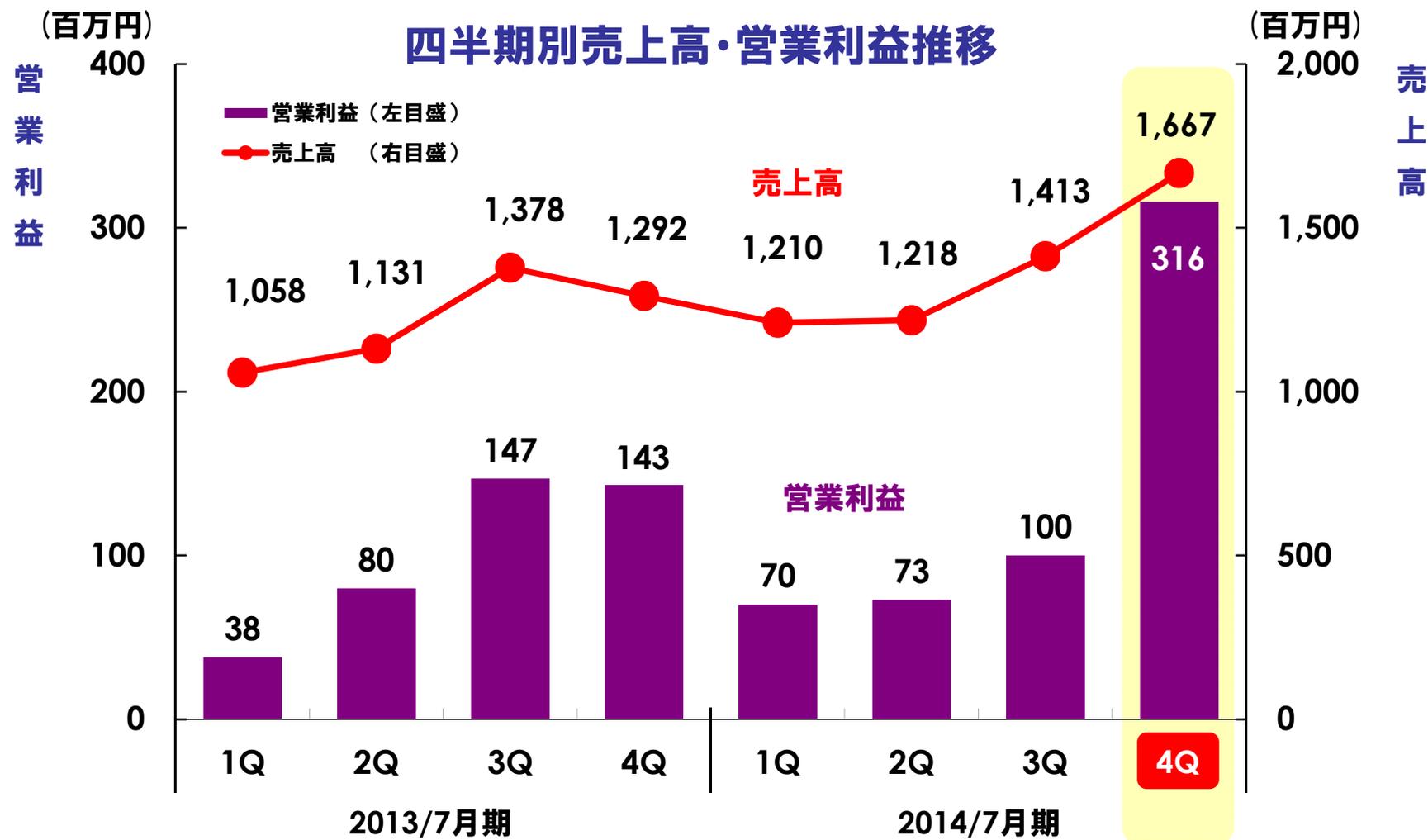
---

- 1. 2014年7月期 決算概要**
- 2. 2014年7月期 事業分野別の状況**
- 3. 2015年7月期 計画について**
- 4. 参考資料～会社概要**

# 1. 2014年7月期 決算概要

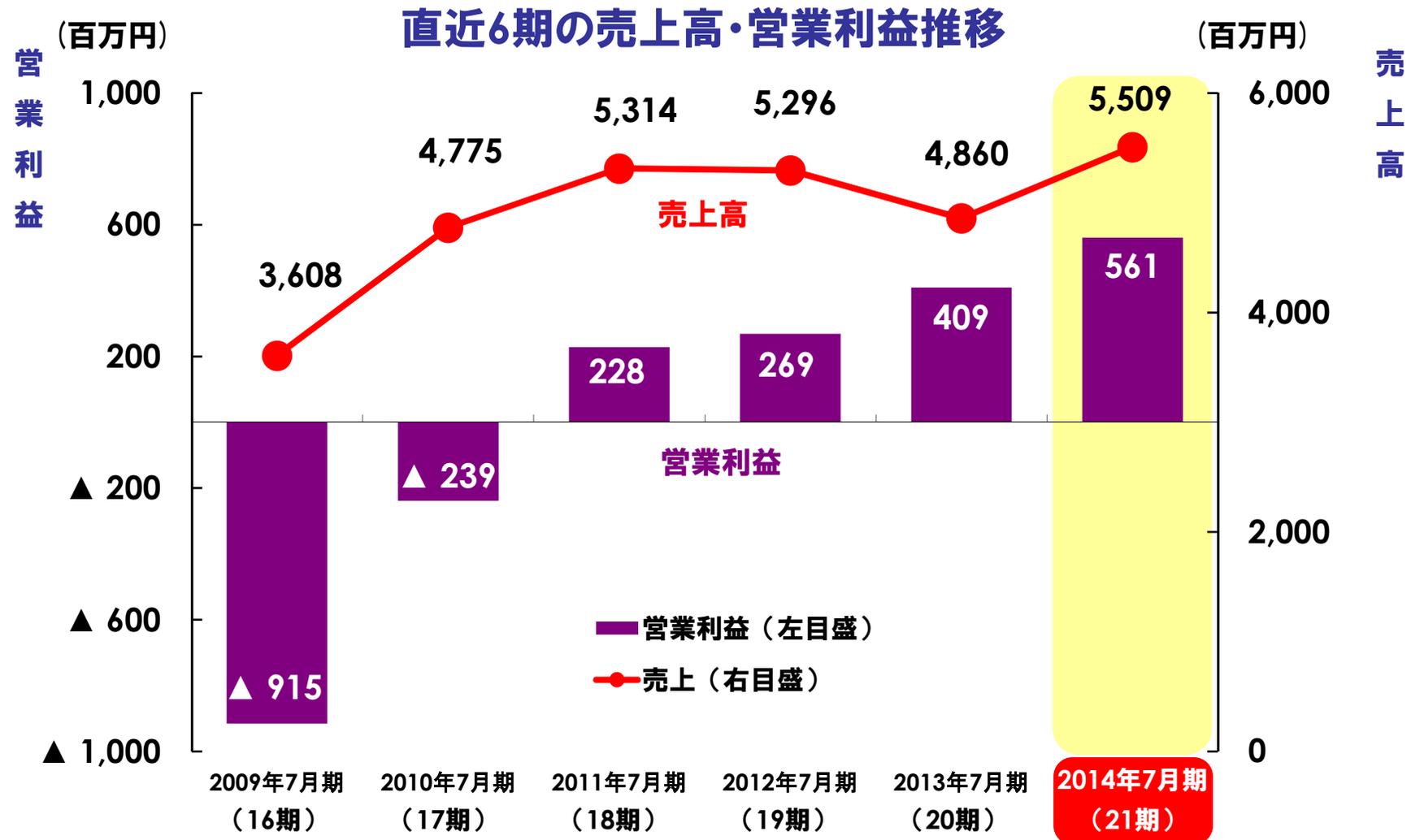
# 決算ハイライト

## 第4四半期での売上高・営業利益が大幅増加



# 決算ハイライト

売上・営業利益とも過去6年で最高売上、最高益を達成



# 決算キーポイント

2013年7月期累計			2014年7月期累計	
売上高	:4,860百万円	➡	売上高	:5,509百万円
営業利益	: 409百万円		営業利益	: 561百万円

**第4四半期の大幅伸長で、通期計画を達成  
四半期売上高としては過去最高額**

**4Q売上高 :前年同期比 + 29.0%**

**4Q営業利益:前年同期比 +119.9%**

- Rsee稼働開始(2014年5月)で、売上への貢献
- 景気回復基調による、国内の回復と欧米の好調

# 2014年7月期 連結業績

(単位:百万円)

	2013/7月期		2014/7月期		増減	
	累計実績		累計実績		前年同期比	
	金額 [A]	売上比 (%)	金額 [B]	売上比 (%)	[B]-[A]	[B]/[A]-1 (%)
売上高	4,860	100.0	5,509	100.0	+649	+13.4
売上総利益	2,925	60.2	3,330	60.5	+405	+13.9
販管費	2,515	51.8	2,769	50.3	+253	+10.1
営業利益	409	8.4	561	10.2	+151	+37.0
経常利益	352	7.3	491	8.9	+138	+39.4
当期純利益	453	9.3	398	7.2	▲54	▲12.0

	前年同期比	キーポイント
売上高		国内、海外、新規事業すべて前年同期比プラス
売上総利益		増収により対売上比+ 0.3ポイント
販管費		先行投資費用発生もコスト削減で吸収し、対売上比▲1.5ポイント
営業利益		対売上比10%超を確保
当期純利益		前期は繰延税金資産の計上があったため

# 貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

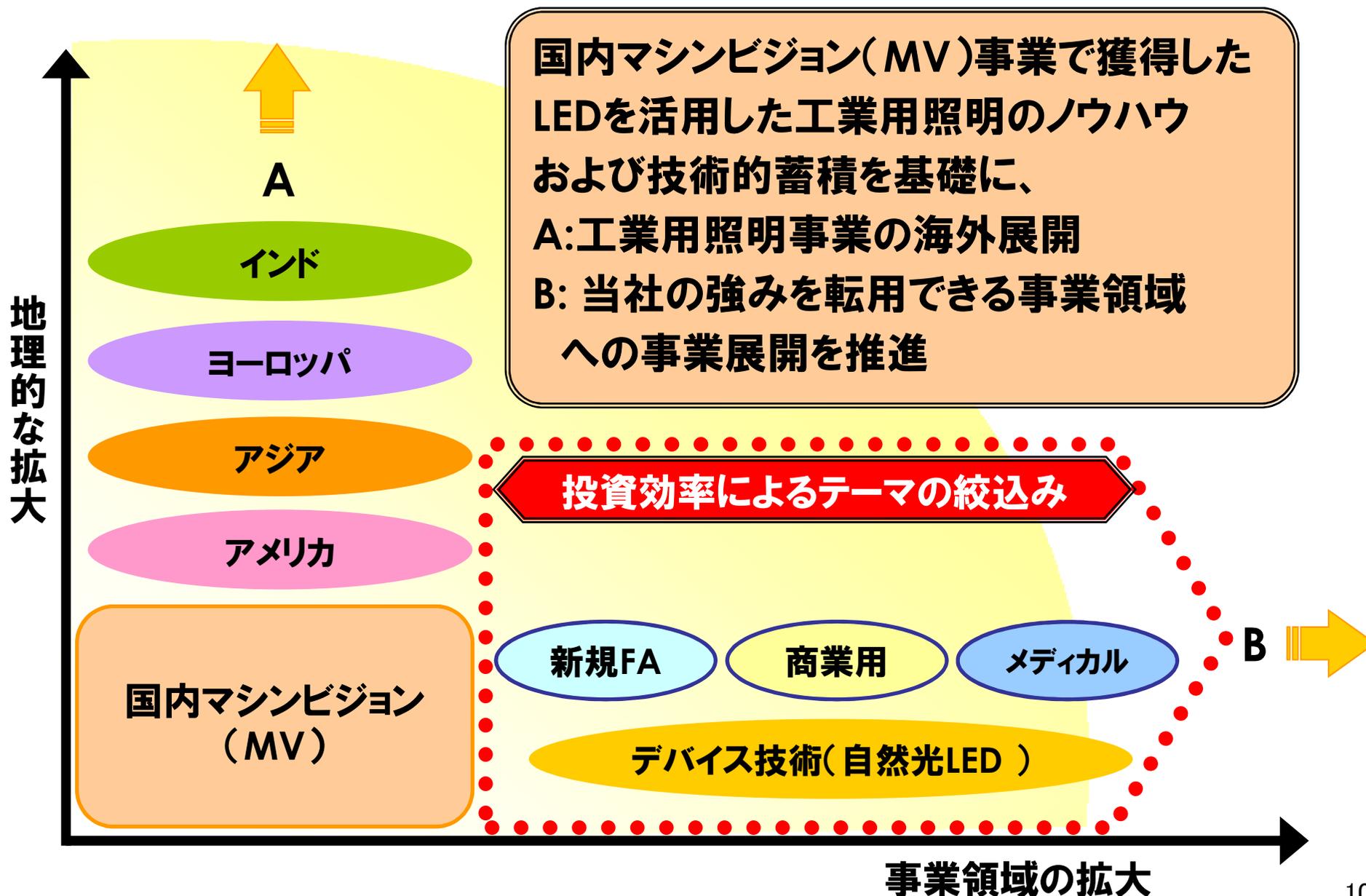
資産	13/7 期末	14/7 期末	負債・純資産	13/7 期末	14/7 期末
現金及び預金	2,043	1,820	流動負債	1,913	2,025
受取手形及び売掛金	1,200	1,602	固定負債	1,070	901
たな卸資産	970	966			
その他	137	127			
<b>流動資産合計</b>	<b>4,350</b>	<b>4,515</b>	<b>負債合計</b>	<b>2,983</b>	<b>2,927</b>
有形固定資産	996	1,034	資本金	462	462
無形固定資産	57	137	資本剰余金	1,460	1,460
投資その他の資産	323	370	利益剰余金	845	1,190
			為替換算調整勘定	▲23	18
<b>固定資産合計</b>	<b>1,377</b>	<b>1,542</b>	<b>純資産合計</b>	<b>2,744</b>	<b>3,131</b>
<b>資産合計</b>	<b>5,728</b>	<b>6,058</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>5,728</b>	<b>6,058</b>

借入金の返済が進み、現預金および負債が減少したものの、第4四半期の売上、受注増加に伴い、売掛金と買掛金が増加しました。また、システムその他投資により、固定資産が増加しました。

## 2. 2014年7月期 事業分野別の状況

- ①事業推進の考え方
- ②工業用照明事業
- ③新規事業

# ① 事業推進の考え方 事業拡大に向けて



## 1. 経営基盤の強化

- 1) 積極的なアライアンスによる売上/利益規模の追求
- 2) リーダー人材の再教育・充実強化による組織の戦力化
- 3) 収益力強化・収益率向上による財務体質の改善

## 2. MV事業の強化と新規事業の堅実拡大

- 1) 総合力強化によるCCSブランド絶対的優位性の確立
- 2) 中国など海外市場への攻勢を強めて断トツシェア奪取
- 3) 出口を見据えた新規事業展開と経営貢献事業への巣立ち

## 3. 開発力の強化と革新

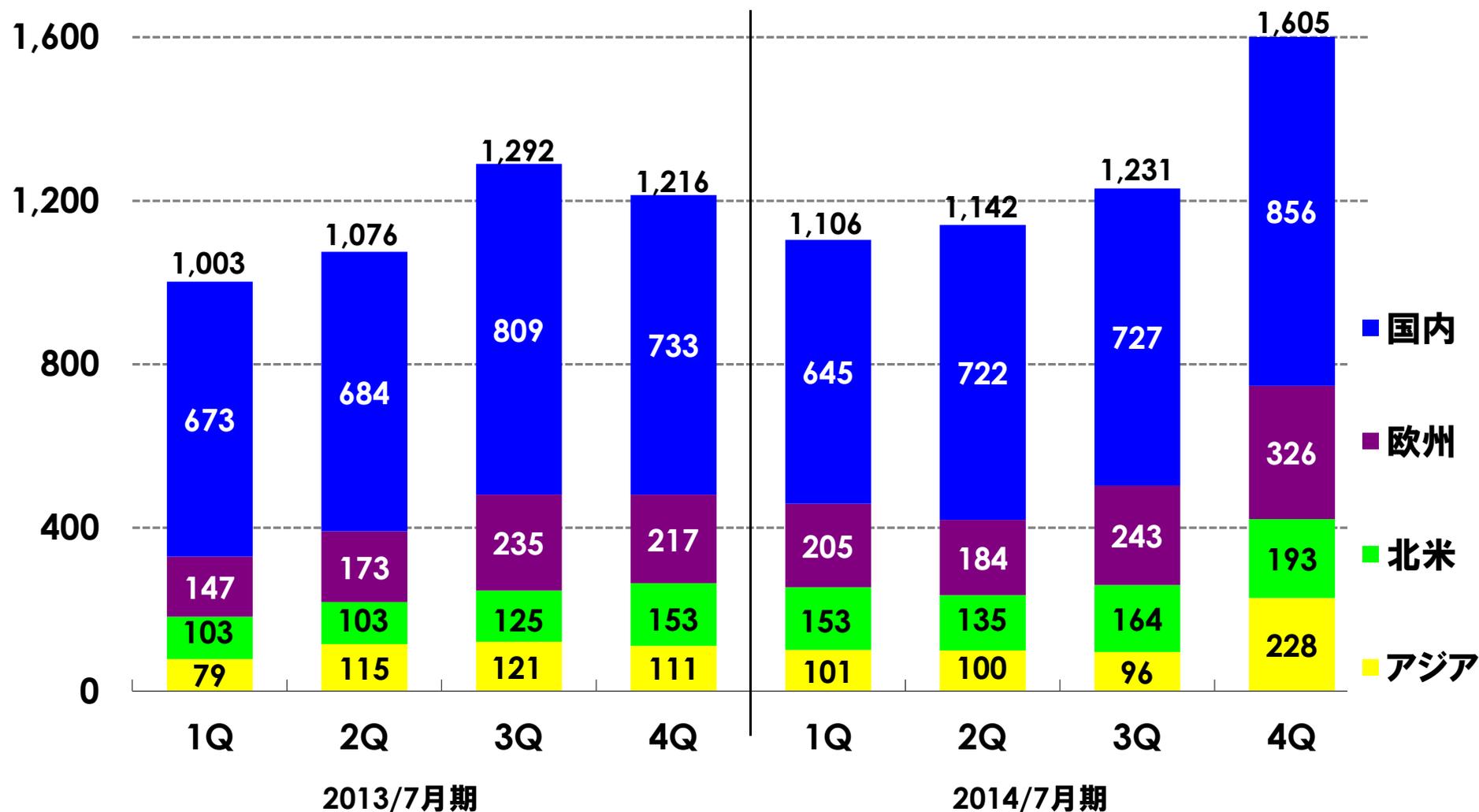
- 1) マーケティング力とシームレスに製品を生み出す企画力UP
- 2) 顧客要求のQCDSへ満額回答出来る技術・生産力の強化
- 3) ライバルを凌駕する先を見据えたコア技術の先行開発

21期 全社スローガン

弛まぬ**変革**と飽くなき**挑戦**

## ②工業用照明事業 地域別売上高(四半期毎)

(単位:百万円) (2013年7月期～2014年7月期)

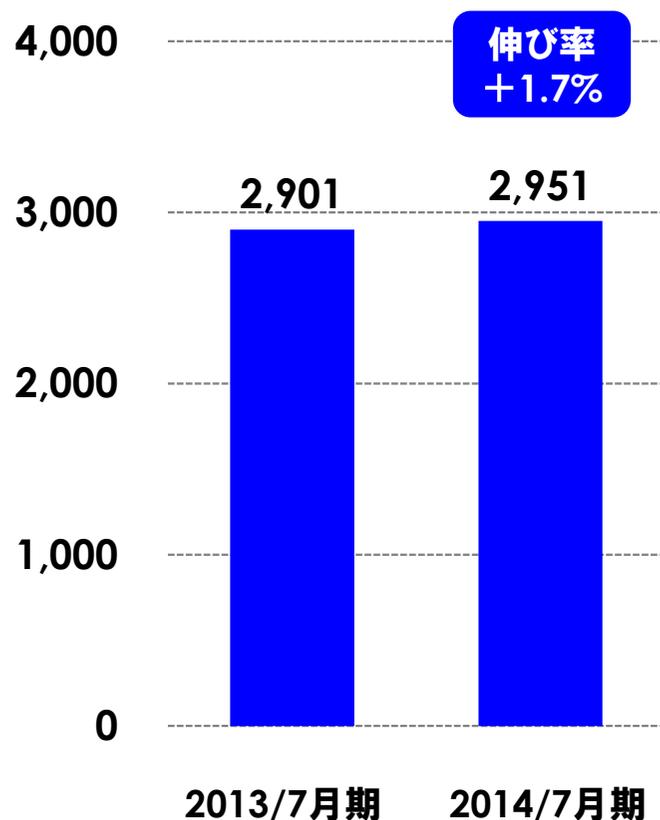


※20期まで工業用照明に分類していた特定顧客向けデバイス事業を、21期より新規事業に移管したため  
2013年7月期の実績数値を調整しています

## ②工業用照明事業 国内

### 前期比較（累計）

(単位:百万円)



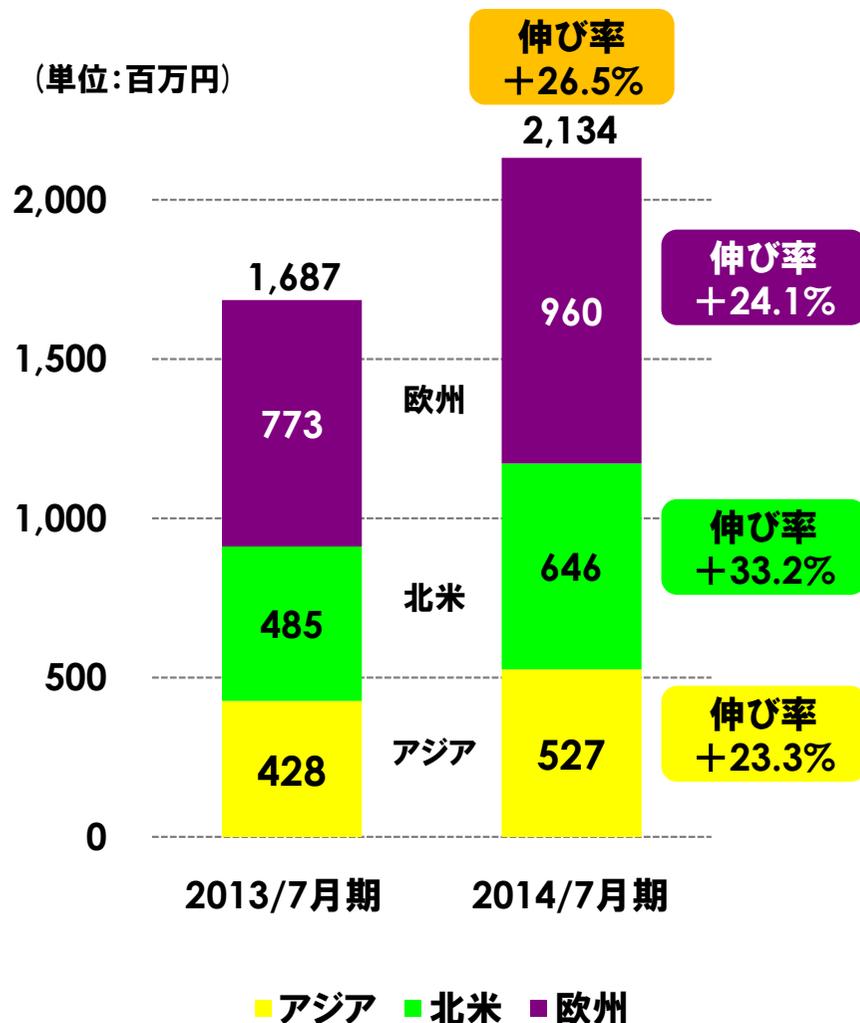
### 2014年7月期 トピックス

- 市況は緩やかに回復  
電子部品・半導体業界は、設備投資が動き始めており、自動車部品や三品業界(食品・医薬品・化粧品)向けも堅調。
- 営業改革の効果  
営業マンの「マインド」改革。  
営業課員の行動管理・訪問件数・顧客への提案内容等の細かな見直しを実施。  
また、営業所やテストングルームを強化・増設、地域密着の顧客対応を推進。
- 商材の拡充によるソリューション力強化  
照明・電源の単品販売から、システムソリューションへ。  
積極的なアライアンスを進めて、産業用カメラやレンズ、光源ユニットなどを開発、上市。

※ 20期まで工業用照明に分類していた特定顧客向けデバイス事業を、21期より新規事業に移管したため、2013年7月期の実績数値を調整しています

## ②工業用照明事業 海外

### 前期比較（累計）



### 2014年7月期 トピックス

■欧州：売上の大幅伸長  
電子部品・半導体装置メーカーからの好調な受注と、三品業界からの大口受注が重なり、売上伸長。今後も代理店との協力体制のもと、主力ユーザーとの関係を強化。

■北米：代理店構築の成果が売上に貢献  
北米は個人消費が活発で好景気を維持。数年前から取り組んできた、主要代理店との関係強化と代理店網の構築が実を結び、売上増。テキサスの実験室を足掛かりに、メキシコおよびメキシコとの国境地域への営業を強化。

■アジア：営業エリアの拡大  
中国の合併会社Rseeが稼働し、第4四半期から売上への寄与が開始。子会社であるCCS Asiaの、タイバンコク駐在員事務所に本社スタッフを配置、営業を強化。

<2013/7月期レート>

1USD=89.44円 1EUR=116.3円 1SGD=72.08円

<2014/7月期レート>

1USD=101.20円 1EUR=137.68円 1SGD=80.48円

## ②工業用照明事業 海外拠点

### 海外に営業拠点を開設

#### 台湾 駐在員事務所



2013年10月29日 開設

台湾・新竹地区に開設。  
台湾にて研究・開発し、中国で生産する  
半導体装置メーカーや電子部品メーカー  
が多いため、開発段階からスペックイン  
することがねらい。



台湾高速鉄道新竹駅より5分

#### エル・パソ テキサス テスティングルーム



2014年1月23日 開設

テキサスおよびメキシコとの国境地域は、  
近年、工場地域として発展している地区。  
アメリカ西部・南部、メキシコへの事業展開  
を強化。  
エリア実験室を備え、顧客対応のスピード  
アップをねらう。



## ②工業用照明事業 新製品

### 業界最先端の製品投入と積極的なアライアンス

#### ①ラインセンサ用斜光照明 LNISシリーズ

(2014年7月発売)

検出の難しかった、搬送方向の  
キズ検出に最適

フィルム、ガラス、金属板など  
製造ラインの搬送方向についたキズを検出  
LEDでは初の、V字型の光を集光技術によって実現



LNISシリーズ  
使用イメージ

#### ②スマートライティングコントローラー USBカメラ (2014年6月発表)

(株)アートレイとの共同開発



業界初の照明制御機能を内蔵  
画像処理に必要な各種LED照明、  
レンズに加えカメラも含めた  
トータルソリューションを提供

#### ③高出力LED光源ユニット PFBR-150SW (2014年3月発売)

レボックス(株)との共同開発



高出力LEDと独自の集光技術  
メタルハライド光源相当の明るさを実現  
業界最高水準の200万ルクスを達成

## ②工業用照明事業 施策

### 断トツトップシェア獲得のため推進してきた施策

#### ①顧客対応スピードの改善

- ・ 最重要顧客リストの策定と社員への周知徹底
- ・ 営業、技術、生産部門執行役員による合意案件テーマの仕組み構築
- ・ リポート特注品の10日以内出荷体制の構築

#### ②シームレスな製品企画に注力

- ・ 顧客ニーズの進化に追随する現場密着型マーケティングの徹底
- ・ 製品企画ロードマップの日常的ブラッシュアップ

#### ③製品開発への取組み

- ・ 最重要案件は、全社横串の「社長プロジェクト」として推進
- ・ 厳格な品質行政の推進→「品質は企業の生命線」

## ②工業用照明事業 中国マシンビジョン市場



### 合併会社「Rsee」の本格稼働開始

品質重視 : 品質要求の高まりによる検査機器の需要の増加

人件費削減 : 人件費の上昇に対応するため、マシンビジョンによる生産効率の向上

➡ 2014年1月 合併会社「東莞銳視光電科技有限公司」設立

(英語名: Rsee Lighting Technology Co., Ltd)

2014年5月 合併会社「Rsee」の稼働開始

CST社のマシンビジョン事業は「Rsee」へ移管

2014年6月 中国深圳の「Automation Expo」にて、「Rsee」製品を出展

#### ➤CCSの戦略



東莞市東城区  
創意産業パーク内に新工場完成

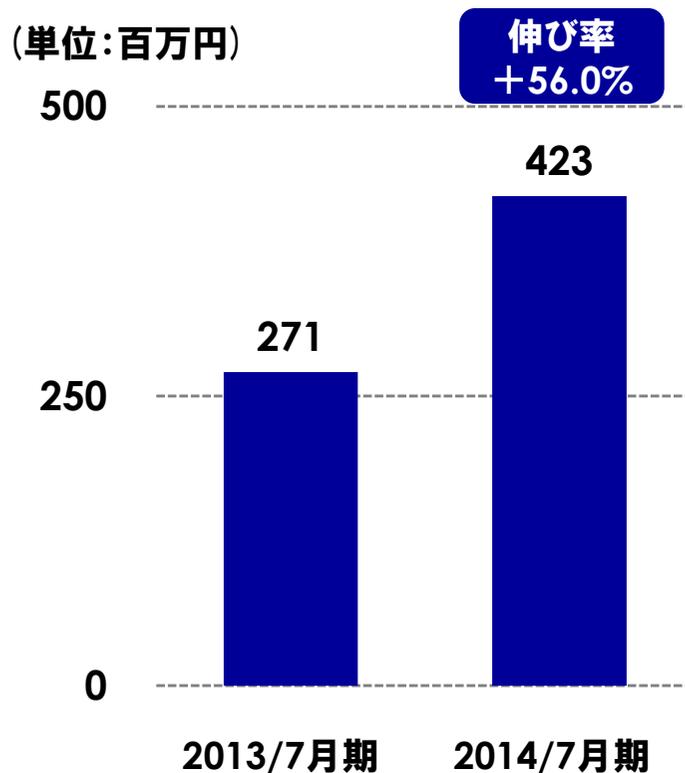


2014年3月 VISION CHINA 2014へ出展

# ③新規事業

## 前期比較（累計）

## 2014年7月期 トピックス



■ **アグリバイオ分野は売上伸長**  
植物工場やグリーンハウスからの大型受注があり、売上伸長。これまでの事業実績、研究成果と、フィリップス社のLED照明の組合せで、顧客への最適なソリューションを提供している。

■ **美術館・博物館分野も順調に拡大**  
CCSオリジナルの「自然光LED」を搭載したスポットライトは認知が広がり、導入事例は60館以上となっている。  
学芸員向けの研修会等にて、光による演色性の違いや文化財保護の観点からの照明の選び方を伝え、認知活動に努めている。

■ **デバイス事業は引き合い増加**  
医療分野照明への応用展開が進展中。

※ 20期まで工業用照明に分類していた特定顧客向けデバイス事業を、21期より新規事業に移管したため、2013年7月期の実績数値を調整しています

# ③新規事業 デバイス事業

## CCSのデバイス商材：「自然光LED」、「UV-LED」

### ～ デバイス事業の考え方 ～

- ・CCS独自の自然光LED・UV-LEDデバイスを商材として、かずのご展開することで事業領域の拡大を目指す
- ・当該分野のトップメーカー、継続的に利益の見込める企業に厳選して供給



・デバイス 実物



CCSデバイス  
使用の製品



・歯科重合機



・LED Cool SPOT α



・ネイルジェル硬化用



・黄疸治療器



・顕微用光源

# ③新規事業 美術館・博物館用照明

## MUSEUM COB SPOTLIGHT リニューアル発売

(2014年4月発売)



MUSEUM COB SPOTLIGHT

業界最高水準の演色性を実現 (Ra96 typ.平均Ra95~98)  
従来品より小型化し、明るさも大幅にUP  
一括調光機能も搭載し、照明管理がより簡単に。

### ■ 導入事例



■ 佐賀県立美術館 2014年3月



■ 出光美術館 2014年3月

### ■ その他の導入館 (一部)

加島美術(アートギャラリー)	2014年04月
九州産業大学美術館	2014年04月
佐賀県立九州陶磁文化館	2014年03月
大阪芸術大学スカイキャンパス	2014年01月
島根県立古代出雲歴史博物館	2013年11月
京都府立堂本印象美術館	2013年09月
富山県水墨美術館	2013年07月
當麻寺	2013年04月

# ③新規事業 アグリバイオ用照明

## フィリップス社製 GreenPower LEDの 植物工場・グリーンハウスへの積極展開

### ■ GreenPower LED について

- 世界各国で1,000件以上の導入実績
- 防水規格 IP66  
意外に多い植物工場の水トラブル  
漏電・生産ライン停止対策に重要
- 多彩な発光色ラインナップ  
従来の赤・青色に加え、
  - ① 野菜の緑色が確認できる「作業性」重視の赤白色
  - ② 「成長促進」効果の遠赤色



■ グリーンハウス トマト・パプリカ用 GPLD



・LEDを使用した植物栽培工場(イメージ)

■ 富山市 牛岳温泉植物栽培工場へ  
GreenPower LED 2,400本 導入

■ 大阪府立大学の新植物工場へ  
GreenPower LED 13,000本 導入

### **3. 2015年7月期 計画について**

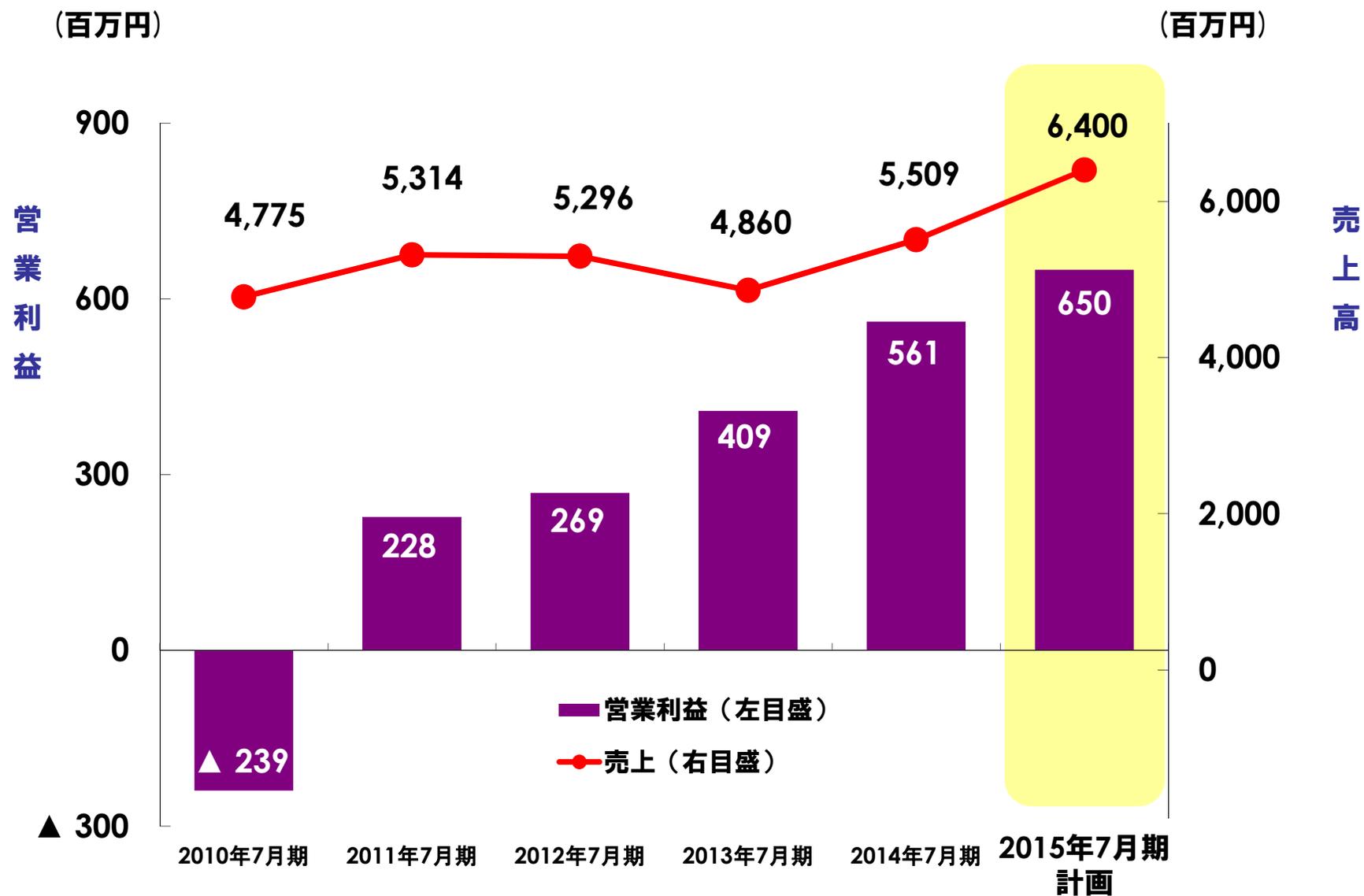
# 2015年7月期計画(連結)



(単位:百万円)

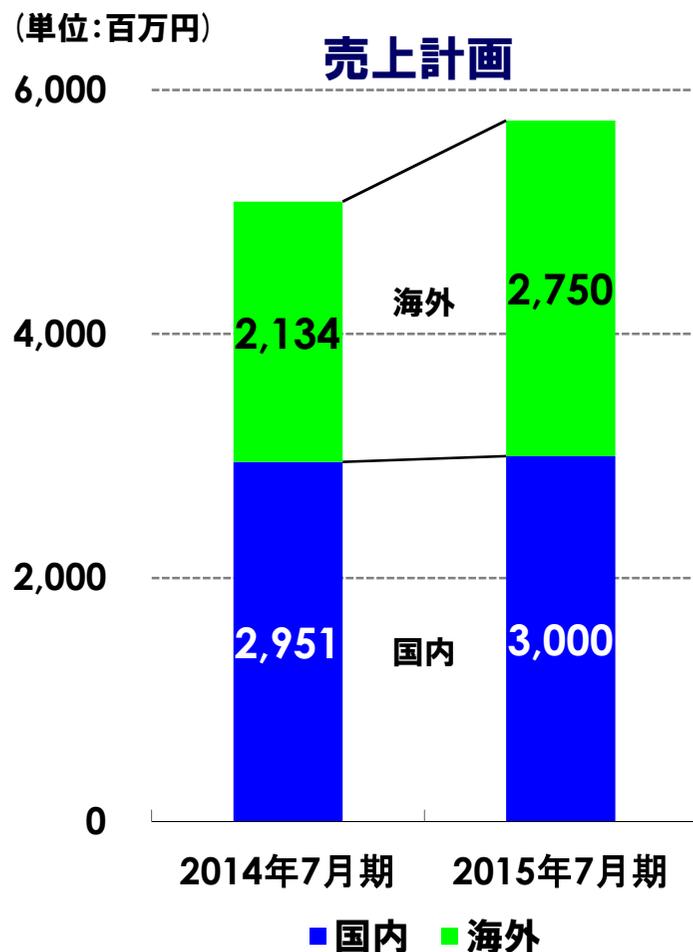
	2014/7月期 実績		2015/7月期 計画		増減	
	金額 [A]	対売上比 (%)	金額 [B]	対売上比 (%)	[B]-[A]	[B]/[A]-1 (%)
売上高	5,509	100.0	6,400	100.0	891	16.2%
売上総利益	3,330	60.5	3,710	58.0	380	11.4%
販管費	2,769	50.3	3,060	47.8	291	10.5%
営業利益	561	10.2	650	10.2	89	15.9%
経常利益	491	8.9	600	9.4	109	22.2%
当期純利益	398	7.2	440	6.9	42	10.6%

# 売上高・営業利益の推移



# 計画と施策 工業用照明事業

## 計画



※ 22期から、工業用照明に分類していたUVビジネス事業を、新規事業に移管いたしました。

## 施策

### ■ 国内

- ・ 訪問管理、予材管理など営業改革の継続
- ・ テスティングルームの強化・開設による、エリアごとの販売力強化
- ・ 代理店との連携強化、営業力強化のサポート  
照明勉強会やセミナーの開催
- ・ 照明のみでなく、レンズやカメラ等周辺商材の販売を強化

### ■ 海外

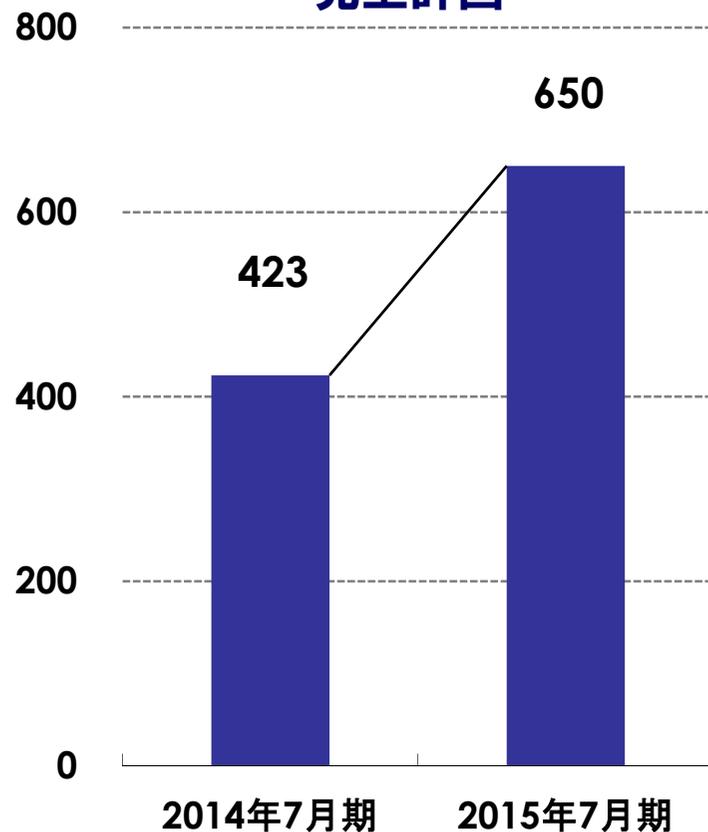
- ・ テキサステスティングルームを足掛かりに、メキシコおよび中南米地域などの未開拓エリアの営業開始
- ・ 代理店との更なる関係強化・連携強化
- ・ タイバンコク駐在員事務所から、メコン川を中心としたエリアの開拓
- ・ Rseeによる、中国市場向け製品の拡販

# 計画と施策 新規事業

## 計画

(単位:百万円)

### 売上計画



※ 22期から、工業用照明に分類していたUVビジネス事業を、新規事業に移管いたしました。

## 施策

各分野、新技術製品の開発、市場投入

### ■ デバイス分野

医療分野照明への応用展開を加速  
自然光LEDデバイスの米国への拡販  
代理店の積極活用を開始

### ■ 美術館・博物館ビジネス分野

美術館学芸員へのセミナーを実施  
CCSの“自然光LED”の認知活動  
設計事務所等との連携強化

### ■ アグリバイオ分野

フィリップス社製  
GreenPower LEDの更なる拡販

## 1. 経営体質の革新

- 1) 企業連携の積極推進による経営基盤の強化
- 2) 付加価値を生み出すすべての生産活動の効率化
- 3) 顧客満足を最大にする人的品質・製品品質の徹底追及

## 2. MV事業の拡大と新規事業の再構築

- 1) 総合力練磨による断トツトップシェア、CCSブランドの盤石化
- 2) 未開拓エリアや攻めきれていない海外市場への積極攻勢
- 3) 新規事業の成長性、実現可能性etcの再検証と新芽発掘

## 3. 開発力の更なる革新強化

- 1) マーケティング力とシームレス製品企画力の徹底強化
- 2) 顧客QCDSの満額回答を可能にする技術・生産力の高度化
- 3) ライバルを凌駕する先を見据えたコア技術の先行開発

## 22期 全社スローガン

**正しいことを正しくやる  
当り前のことを当り前にやる**

**— 凡事徹底 —**

## 4. 参考資料 ～会社概要～

## Creating Customer Satisfaction

**社是** : 『お客様に愛と感謝』

**基本理念**: 『光を科学し、社会に貢献する』

**行動指針**: 『すべてはお客様のために』

# 会社概要

- 商号 シーシーエス株式会社
- 本社所在地 京都府京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374
- 代表者 代表執行役社長 各務 嘉郎
- 設立 1993年10月
- 資本金 462百万円
- 従業員数 213名(連結)、187名(単体)
- 発行済株式総数 普通株式 4,138,000株  
A種優先株式 5,103株
- 株主数 普通株式 3,160名  
A種優先株式 4名
- 連結子会社 CCS America, Inc. / CCS Asia PTE.LTD. / CCS Europe N.V.  
CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVT.LTD. /  
東莞銳視光電科技有限公司(Rsee)
- 拠点数 国内 7ヵ所 / 海外(連結子会社含む) 10ヶ所



本社(京都市上京区)

# 沿革

- 1993 シーシーエス株式会社を資本金1,000万円で設立
- 1999 CCS America, Inc.(100%子会社)を設立(米国マサチューセッツ州)
- 2000 東京営業所を開設
- 2001 本社移転(現所在地)
- 2003 上海駐在員事務所を開設(中国 上海市)
- 2004 ジャスタックに上場  
RDV(S)PTE LTD社を子会社化(シンガポール)  
CCS Europe NV(100%子会社)を設立(ベルギー)
- 2005 ISO9001認証取得
- 2006 ISO14001認証取得
- 2007 生産拠点と物流拠点を統合し、生産センターを開設(京都市下京区)  
仙台テストングルームを開設(宮城県仙台市青葉区)  
山口大学との共同開発で「自然光LED」照明を開発
- 2008 新研究所「光技術研究所」を開設(京都市上京区)  
深セン駐在員事務所を開設(中国広東省深セン市)  
名古屋営業所を開設(名古屋市中村区)
- 2009 連結子会社であるRDV(S)PTE .LTD.の商号をCCS Asia PTE.LTD.へ変更  
医療機器製造業および第三種医療機器製造販売業に関する許可を取得
- 2010 CCS Asia PTE.LTD.バンコク駐在員事務所を開設(タイ・バンコク)
- 2011 CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVD.LTD.を設立(インド)
- 2012 医療用LED照明の開発・販売、医療分野へ参入
- 2013 中国CST社との合併会社設立を目的とし、合併契約を締結  
台湾駐在員事務所を開設(台湾 新竹県)
- 2014 CCS America, Inc.エル・パソ テキサス テスティングルームを開設(米国テキサス州)  
金沢テストングルームを開設(石川県金沢市)  
守山テストングルームを開設(滋賀県守山市)

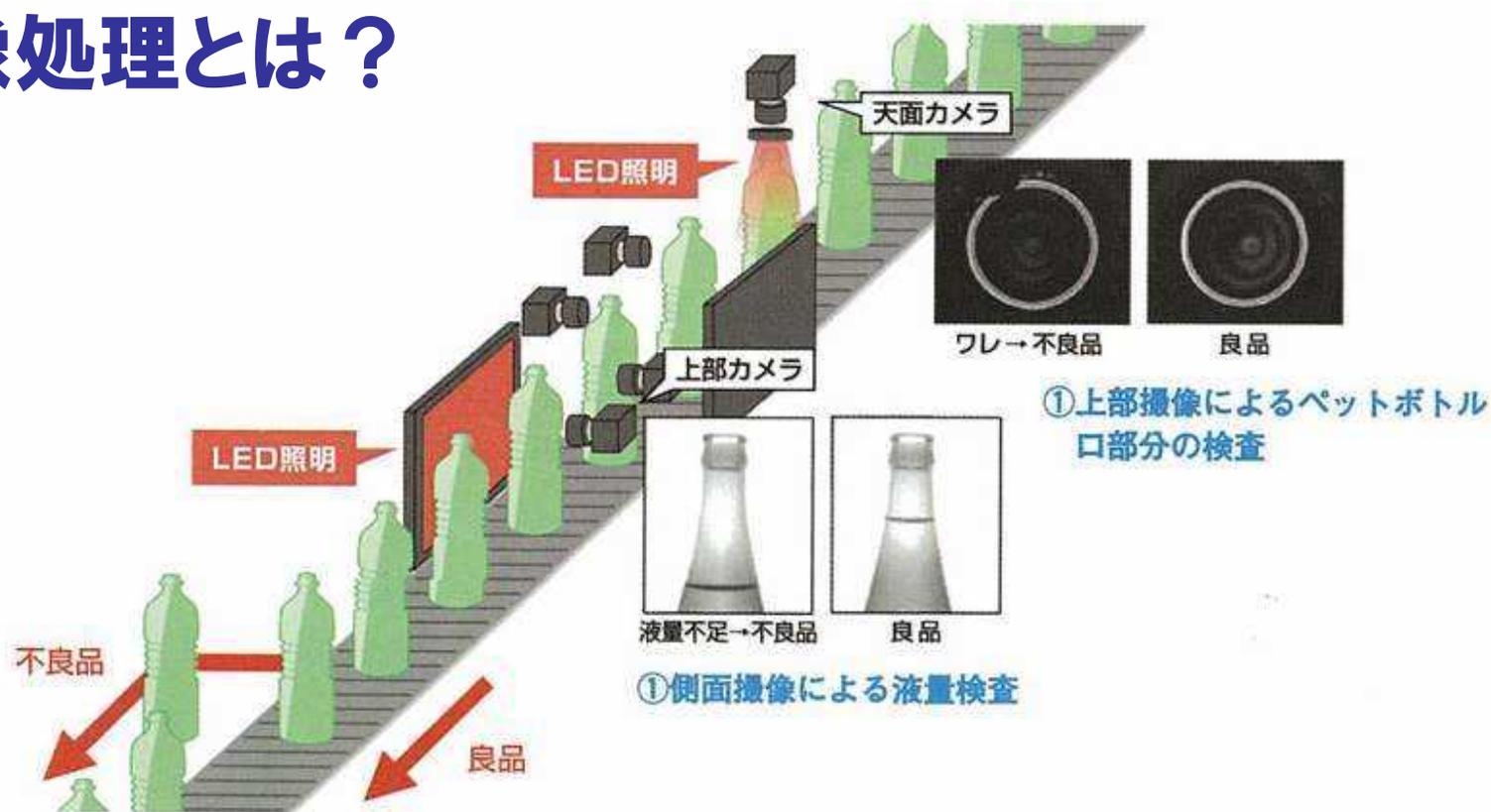
## 参考資料:LED開発の歩み

- 1962年 赤色と黄緑色が開発
- 1970年代 赤色と黄緑色が実用化
- 1993年 青色が製品化
- 1995年 純緑色の開発  
光の三原色がそろそろ
- 1996年 白色が開発
  
- 現在 発光効率の向上  
高演色性白色の開発

# シーシーエスの主力事業

CCSは、画像処理用LED照明市場で国内・海外ともに  
トップシェアを占める リーディングカンパニーです。

## 画像処理とは？

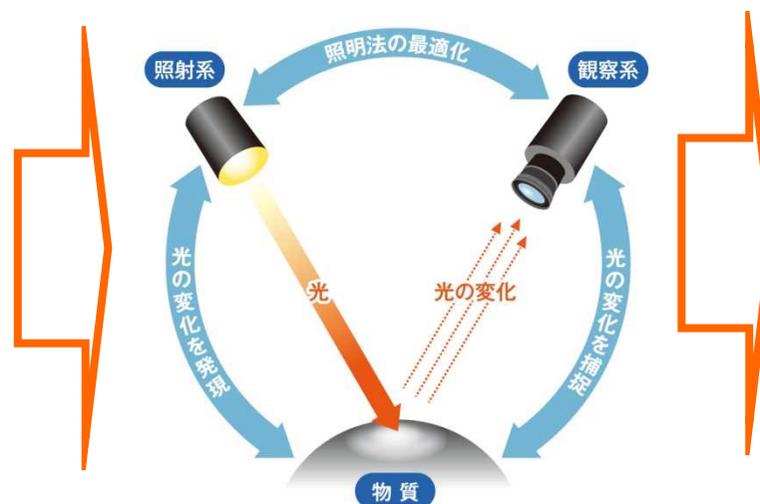


# ライティングソリューションの重要性

## <照明法の最適化>



流通している硬貨。  
実際に検査しているものではありません。



伝搬方向を最適化  
見えなかった、  
500円の文字を抽出。

同じ対象物でも見え方が全く異なります。  
この光の選び方が技術・ノウハウである、  
**「ライティングソリューション」**です。

## 信頼の実績とサポート体制

- 50,000件以上のワーク撮像実績
- 約10,000機種のカスタム照明の設計・開発・製作
- 数百種類、数千台に及ぶ無料貸出機を準備
- エリア実験室、ラインセンサ用実験室を完備



エリア実験室



ラインセンサ用実験室

# シーシーエスの事業領域

## 新規事業分野



## 商業分野

## 美術館・博物館用照明



## 工業用照明分野

## マシンビジョン用照明分野

(エリア照明・ラインセンサ用照明)



## 新規FA分野照明

(UV照射器

顕微鏡用照明)



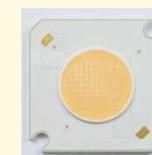
## メディカル分野



## アグリバイオ分野

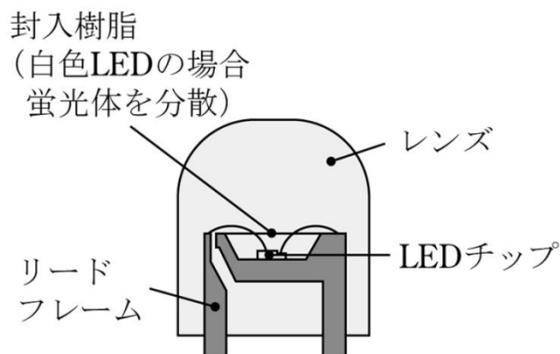


## デバイス分野

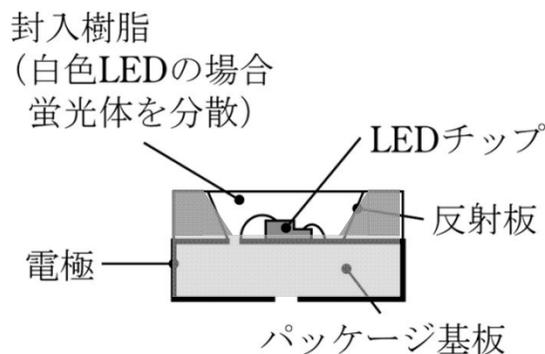


## LEDの種類と構造

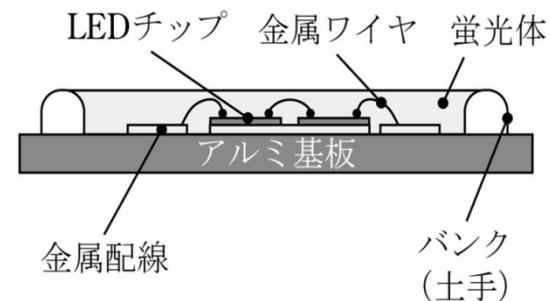
LEDは、LEDチップ、蛍光体、パッケージや封止樹脂などさまざまな部材を組み合わせ、複雑な光学現象、化学現象、構造力学現象をハンドリングしてつくりだされています。



砲弾型



表面実装(SMD)



チップオンボード(COB)

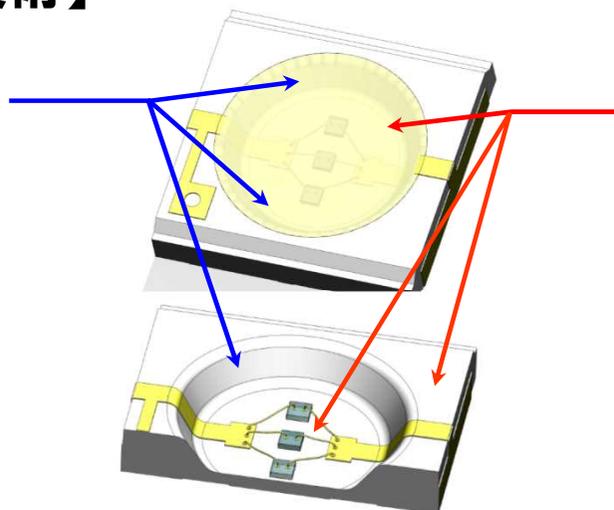
\* 参照: 社会法人日本電気技術者協会 電気技術開設講座

シーシーエスは、独自の技術で設計開発を行いオリジナルLEDの開発に取り組んでいます。

## 【SMDパッケージング技術】

### 高効率化

【蛍光体】  
材料及び封止方法の最適化  
【封止樹脂】  
材料特性、表面形状の最適化  
【リフレクタ形状最適化】  
壁面高さ、角度、高反射率



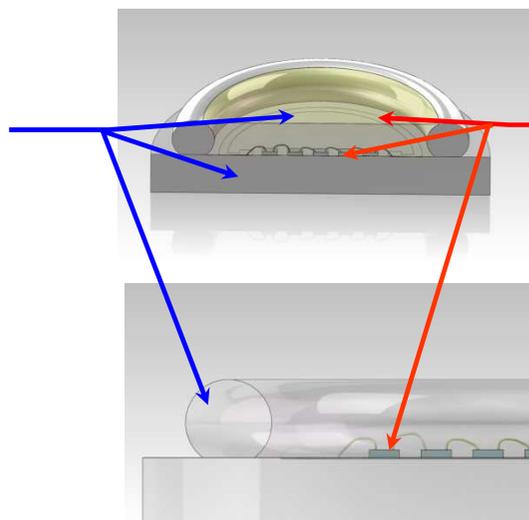
### 長寿命化

【封止樹脂】  
耐熱・耐光性向上  
【ボンディング材料】  
耐熱・耐光性向上、高放熱性  
【パッケージ材料】  
高反射率、高放熱性

## 【COB実装技術】

### 高効率化

【蛍光体】  
材料及び封止方法の最適化  
【ダム材】  
高反射率、成型化  
【基板材料】  
高反射率、高放熱



### 長寿命化

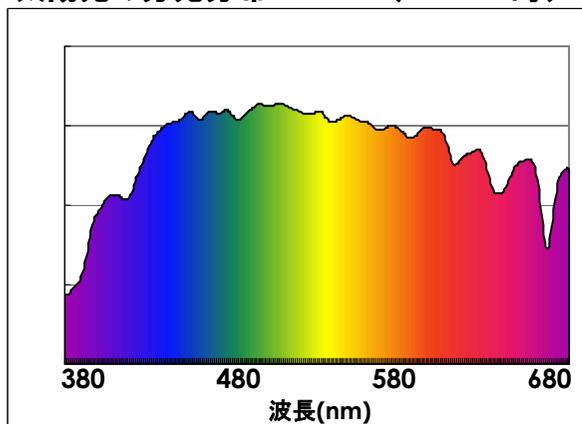
【封止樹脂】  
耐熱・耐光性向上  
【実装パターン】  
狭ピッチ、高反射率  
【ボンディング材料】  
耐熱、耐光性向上、高放熱性

# 「自然光LED」とは

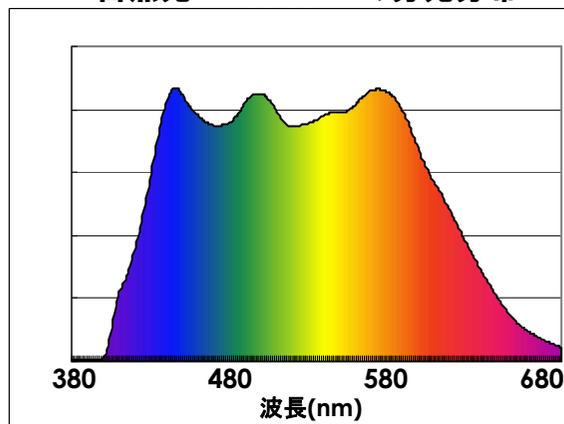


独自に開発した太陽光に近い光を再現する「自然光LED」  
色の再現性を標準化・数値化した平均演色評価数\*において、  
業界最高クラス“Ra98”(相関色温度:5000 K)を達成

太陽光の分光分布 5200 K(AM:10時)



“自然光LED5000 K”の分光分布

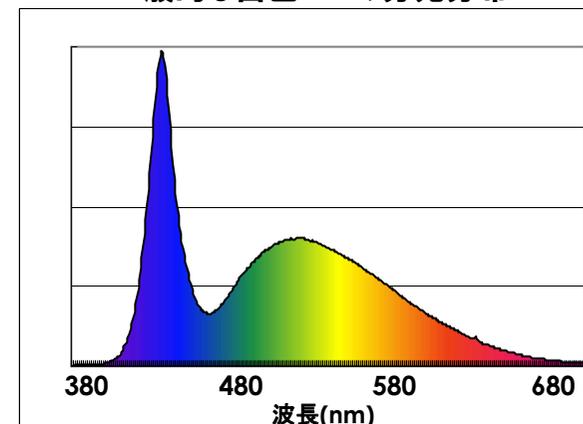


太陽光に近い分光分布で物体の色を忠実に再現



肌の色も自然に美しく魅せることができます

一般的な白色LEDの分光分布



青色LEDの青が極端に強い



## 照明学会全国大会 第47回大会 2014年9月

### ▶▶ 【講演番号14-1】白色LED照明が日本画の見えに及ぼす影響の検証

近年、美術館などの展示空間において、LED照明が多く導入されるようになった。紫色励起の白色LEDは演色性が非常に高く(単位:Ra)、様々な色の再現性に優れている。しかし、色の見えが作品の印象に大きく影響する美術館でLED照明をより有効に活用していくためには、さまざまな特徴を持った絵画に関するデータを蓄積していく必要がある。本研究では、LED照明が日本画の見えに与える影響を把握し、絵画鑑賞に適した照明環境の検討を行うことを目的とした。

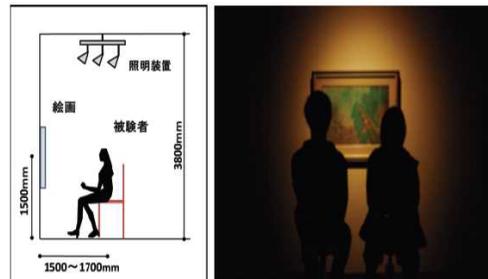


図1. 実験空間



図2. 実験を行った絵画

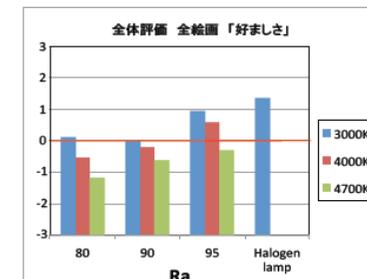
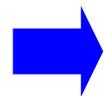


図3. 評価結果



今回の実験では日本画に限定し、主観評価実験を行うことで絵画の見え方に影響する評価要素を明らかにした。結果として、全体として対象となる絵画に適した色温度の高演色LED照明を選択することで、好ましい見えを得られることが示された。

# 「自然光LED」搭載照明の商品化に注力



顕微鏡



美術館



生鮮食品などのショーケース用照明

光源から熱を出す  
生鮮食品を傷めず、店内の空調コストも抑制できます。

こんなに見え方が違います！  
特に赤い野菜や果物は自然光LEDの光で色が鮮やかに見えます。もちろん、手も自然光LEDのもとでは肌の色がきれいに見えます。

自然光LED	従来の白色LED	電球灯

食品



ホテル・会場

# 設備投資・減価償却・研究開発費の推移



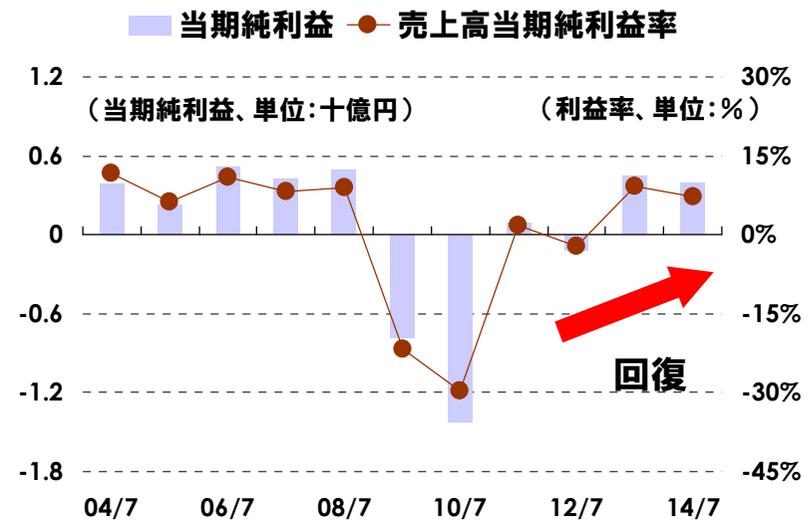
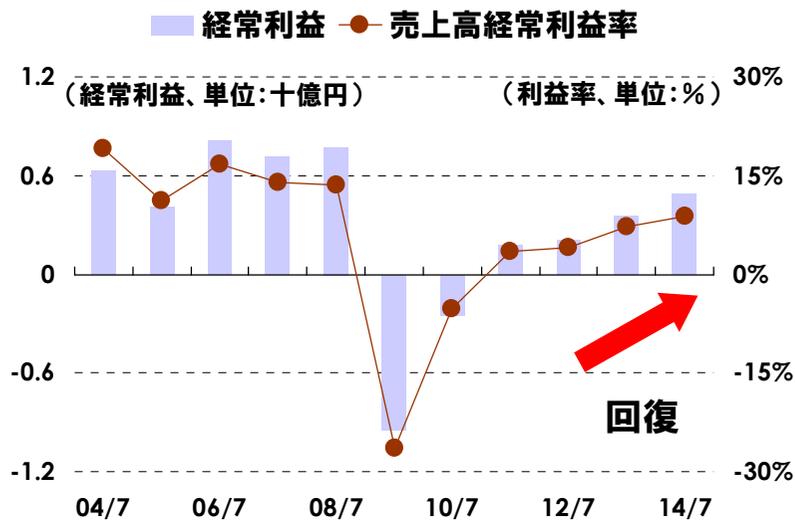
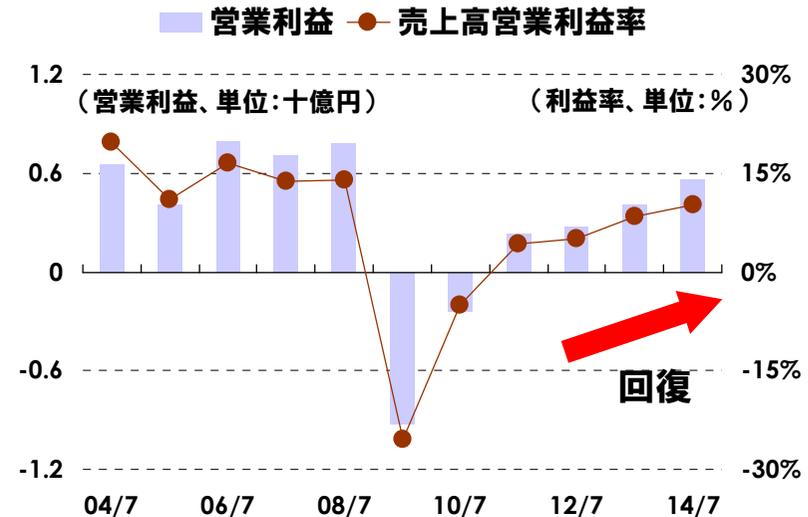
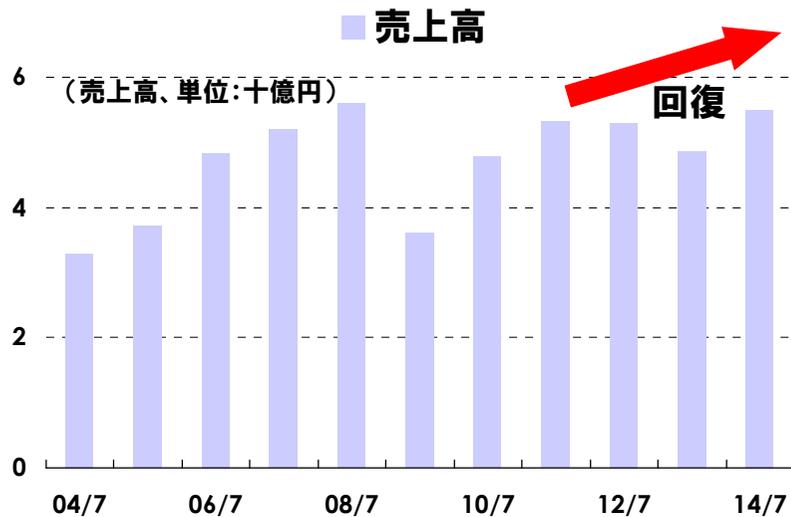
(単位:百万円)

	11/7 累計	12/7 累計	13/7 累計	14/7 累計	15/7 通期計画
設備投資	80	94	128	266	234
有形固定資産	61	77	103	160	172
無形固定資産	19	17	24	106	62
減価償却	166	145	124	146	224

(単位:百万円)

	11/7 累計	12/7 累計	13/7 累計	14/7 累計	15/7 通期計画
研究開発費	684	570	449	464	550
対売上比率	12.9%	10.8%	9.3%	8.4%	8.6%

# 業績・財務指標の推移(1)



# 業績・財務指標の推移(2)

